

# 小樽市地域漁業振興実証計画の概要

後志総合振興局産業振興部水産課

## 計画概要

### 現状と課題

- 当地区において、ホタテガイ養殖は漁業生産額を支える主要な漁業であり、平成12年からは本格的なホタテガイ種苗生産に取り組んでいる。
- 近年、ホタテガイ種苗の大量へい死や採苗不振が発生しており、海洋環境の変化にどのように対応するかが課題となっている。
- また、潮流の影響による養殖籠の損傷等から、錘(おもり)及び籠の交換作業が発生しており、漁労作業の改善も併せて求められている。

### 取組内容

## ■ホタテガイ養殖業における漁場環境の変動に対応した生産体制構築の実証

### 【R3年度補助事業】

- ・事業主体:小樽市漁業協同組合
- ・事業内容:水温・塩分・流速リモート観測装置(ブイ)2基、養殖用網籠一式
- ・総事業費:35,202千円(うち 道16,000千円、小樽市漁業協同組合19,202千円)

### 期待される効果

#### ○取組による海洋環境変化への対応

- ① 継続的なデータ収集による海洋環境変化の把握
- ② 得られたデータと従来の経験により、へい死や採苗不振の予防に向けた養殖施設の水深移動などの施設管理可能な体制の構築

#### ○取組による漁労作業の合理化・効率化

- ① 潮流データに基づき適切な養殖籠の設置水深を把握することにより、養殖籠損傷及び脱落を防止
- ② 錘の再設置や網の入替・修理事業の見直しによる生産体制の省力化

## 事業位置図等

### 【事業位置図】



### 導入した観測機器

